

臨床研究中核病院としての 京大病院の現状と取り組み

京都大学医学部附属病院 病院長
京都大学大学院医学研究科 糖尿病・内分泌・栄養内科学 教授

稲垣 暢也 先生

日時：8月21日(火) 18:00～19:00

場所：和歌山県立医科大学附属病院
中央棟4階 臨床講堂Ⅱ

■ 略歴

昭和59年 3月 京都大学医学部卒業
59年 6月 京都大学医学部附属病院内科 研修医
60年 6月 田附興風会北野病院にて研修医ならびに医員として勤務
62年 4月 京都大学大学院医学研究科博士課程入学(平成4年1月修了(医学博士))
平成 4年 3月 千葉大学医学部附属高次機能制御研究センター 助手
7年 6月 同 講師
8年11月 同 助教授
9年 9月 秋田大学医学部生理学第一講座 教授
16年 4月 秋田大学バイオサイエンス教育・研究センター長(兼任)
17年 4月～ 京都大学大学院医学研究科 教授(糖尿病・栄養内科学、
平成25年9月より糖尿病・内分泌・栄養内科学と改称)現在に至る
27年 4月～ 京都大学医学部附属病院 病院長(兼任)

■ 開催の要旨 [講演者より]

京都大学医学部附属病院は平成29年3月に医療法上の臨床研究中核病院として承認されました。本セミナーでは、当院の承認までの経緯と、現在の活動状況、そして今後にもむけた取り組みについて講演します。

■ お申し込みの方法～事前予約制～

受講希望の方は、[c r c@wakayama-med.ac.jp](mailto:crc@wakayama-med.ac.jp) まで e-mailで申し込みをお願いします。
お申し込みの際には、氏名、職名、所属、連絡先をあわせてご連絡ください。